



いい店発見「篠原ライス」
次世代経営者に聞く「サンヨーナイロン」
おすすめビジネス書案内
北区インフォメーション 北区景況調査

新しい風

「おいしいお米ください。」
お米を愛するお客様のそんな期待に答えます。

有限会社 篠原ライス
農家直送米くらしの里 東十条 店長 篠原秀久 さん

一口においしいご飯というけれど、好みは人それぞれ。お米の銘柄はもちろん、柔らかめが好きな奥さんに、硬めがいいご主人。と、いった具合で、好みは微妙に分かれるものらしい。しかも無農薬、有機肥料で、安全なものといった条件がいろいろ加わるのだからお米屋さん、生産農家も悩ましい。

東十条にある「農家直送米くらしの里 東十条」は、レストランのcockをしていた篠原店長が、父の経営していた米屋兼コンビニエンスストアを継ぎ、再出発させる中で生まれた新しいスタイルのお米屋さんだ。ラグビーで鍛えた立派な体格と、気さくな人柄の店長のお米にかける情熱は、まさに「おいしいお米の宣伝部長」と呼ぶたいほどである。

自信を持っておすすめできるお米を売りたい。

この思いは、店を継いで間もなく、米を仕入れていた問屋が倒産。次の問屋の米が、馴染みのお客様から「以前より、美味



しくない。」と言われたのがきっかけだった。同じ産地のブランド米で、価格帯も同じなのに、いたクレーム。これが、彼の自信を打ち砕くと同時に、探求心に火を着けた。

そんなある日、同業の友人を訪ね、「生産者ネットワークくらしの里」と出会った。生産者の写真と名前が表示された大きな樽に玄米を入れ、1kg単位で売る米屋だった。有名産地

もあるが埼玉や千葉などマイナーな産地が多い。値段もそう安くない。だが、お客はそのお米を、好みの精白度に精米してもらい買っていく。店も自分の店より狭いのに繁盛していた。その米を食べた、おいしかった。

「お米は産地や品種で選ぶのではなく、これからは作った人で売る時代」だと感じた篠原店長は、残留農薬ゼロの米作りをする生産者組合が運営するくらしの里の加盟店になった。それ以来、お米のおいさを多くの人に教える伝道師である。玄米食をはじめたい方には長く

続けるコツを伝授するし、お客様からどんな水田で作っているのかと、尋ねられれば、店からほど近い埼玉の生産者の所まで一緒に出かけ、農作業を手伝ったりもする。また、近所の保育園や幼稚園の子どもたちに、給食に出るお米の話をしに行くのも、春の恒例行事だ。

今、篠原さんは、店中の来店ができないお客様のために、ネット販売をはじめたいと考えている。それができたら、国産米粉を使っ

た商品を世に広めることを考えている。彼は、日本人にもっと農業とお米を好きになってもらいたいようだ。

残留農薬ゼロの安全で美味しいお米を探している方や、今注目されている「食品バイオマス循環堆肥使用工コ米」を食べてみたい、自分好みのマイライズに出会ってみたい、そんな読者の皆さんは、一度「農家直送米くらしの里 東十条」を訪ねてみてはいかがだろうか。生産者の顔が見えるお米がスラリと並び、幅広い価格帯の中からさっと、あなたの好みのお米に出会えることでしょう。



篠原ライス(農家直送米くらしの里 東十条)
〒114-0001 北区東十条 6-7-5
TEL/3902-4588 FAX/3903-7642
<http://www.kurashinosato-hij.jp/>
E-mail: info@kurashinosato-hij.jp
営業時間: 7:00 ~ 19:30 (祝、祭日: 9:00 ~ 18:00)
定休日: 毎週日曜日

22才で突然、社長になり

ペーソをつかむのが大変でした。

サンヨーナイロン株式会社

代表取締役
仲谷良太なかに りょうたさん



研究開発に熱心な先代社長が、国内でルアーフィッシングに注目して、専用のライン（釣り糸）を開発し、売り出した業界の先駆者である。

ご存知の通りルアーフィッシングは魚のいるポイントにルアー（疑似餌と釣り針が付いて

力などを与える特殊加工が、釣り糸専門メーカーの腕の見せ所である。サンヨーナイロンでは、ナイロン、フロロカーボン*1、PE*2などの素材をベースに、独自の加工を施した最先端のラインを製造販売している。

ルアーフィッシングブームは、今から十数年前、引きが強くゲーム性の高い釣りとしてバスフィッシングが、TVなどで日本に紹介されたのがきっかけだった。高額の賞金が懸かったアメリカのバスターナメントや、人気タレントのおしゃれな趣味としてマスコミが注目したこともあり、大ブームになった。

これが追い風となり、サンヨーナイロンのラインは新製品を出すたびに、大ヒットの連続。売上も順調に伸びていたが、先代社長の突然の他界により、当時22才だった長男の良太さんが、急遽、会社を継ぐこととなった。

それと前後してバスブームが下火となり、景気後退も重なって、売上は驚くほど減少した。困難な状況だったが、家族や社員など周囲の協力もあり、脇目もふらず従来のビジネスモデルを踏襲して経営を続けた。そして、社長の目線で、会社の将来を考えられようになったのは5〜6年たった頃からだという。仕事に打ち込む中、約4年ごとに何かしらブームが起きる業界



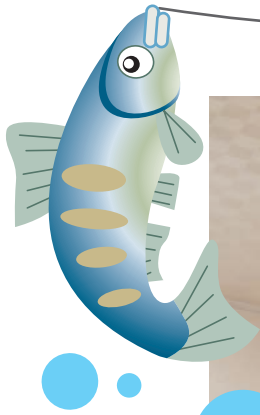
仲谷社長と専務（社長の母）

で生き残るには、会社に新しい理念があることに気づいた。会社の目指す方向やビジョンを明確にすることで、社員や取引先はもちろんお客様に、商品やブランドの新しい魅力を発信し、次の飛躍につなげることができるとを学んだ。

*1フロロカーボン
ポリフッ化エチレンのこと。低温に強く、屈折率が水と近く水中で見えにくいなどの利点がある。フロロカーボンの比重は1.78と水よりも重い。ため、PEラインよりも早く水中へ沈む特性を持っている。

*2PE
ポリエチレンの繊維を寄り合わせたラインで、ナイロン製のものに比べると比重が軽く、他の素材のラインに比べ同等の太さで倍以上の強度がある。また糸自体がほとんど伸びないため非常に感度が良い。

釣りといえば、映画のキャラクターや、釣り好きな知人の顔を



を思い浮かべる人も多いことだろう。そんな明るく健康的なイメージのスポーツフィッシングに特化した釣り糸の専門メーカーが、北区浮間にあるサンヨーナイロンだ。いつも10年先のことを考えている、という

いる。を投げ入れて釣る。これを繰り返すので、竿の先端のガイド（ラインを通すためのリングのようなもの）と擦れるラインには優れた耐久性を要し、特殊加工の強い糸が必要なのだ。このようにラインに強度や耐久



みんなが選んだ北区の名品 「北区名品ガイド30選 vol.2」を発行しました。

北区の自慢の商品や製品を広くPRするために「北区名品ガイド30選vol.2」を発行しました。平成16年3月に発行し、好評を得た「北区名品ガイド」の第2弾となります。

発行にあたり、区民の皆様をはじめ、多くの方々から北区の個性的で魅力ある商品・製品を投票によりご推薦いただきました。推薦された商品・製品を北区名品ガイド制作委員会において選考し、新たに30品(食品20品、非食品10品)を北区の名品として選定しました。

ガイドの巻末には、前回名品に選ばれた名品と合わせて、名品の販売店舗のガイドマップを掲載しています。ガイドをご覧ください、ぜひ、一度、北区発の個性きらめく逸品を手にとってください。

ガイドの配布場所については、下記までお問い合わせください。
お問い合わせ先：産業振興課商工係 電話03(5390)1235



北区観光ボランティアガイド利用案内

北区は歌川広重など数多くの錦絵にも描かれている、江戸時代からの観光地です。また、洋紙発祥の地として、近代産業の礎を築いた街でもあります。

そんな北区が持つ様々な歴史の顔。現在でもまちのなかにひっそりと面影を残しています。北区では「北区観光ボランティアガイド」が区内のまちあるきに同行し、北区の魅力を紹介しながら、観光コースをご案内します。北区をまちあるきされる際は、ぜひご利用ください。

ご利用申込は、北区観光ホームページをご覧ください、下記までお問い合わせください。
お問い合わせ先：産業振興課産業振興係(観光振興担当) 電話03(5390)1234

北区景況調査

北区では、区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています。
調査時期 平成22年1月～3月

景況
予想



製造業

景況感は、前期より水面下ながらやや改善し、全都と比較するとやや上回っているものの、依然として厳しい状況が続いている。収益は前期並みで、価格面では、原材料価格がやや低下したものの、販売価格が大幅に低下しており、収益環境は依然と厳しい。借入難易度はやや悪化し、借入れをした企業は前期並みとなった。

小売業

景況感は、前期並みで、全都と比較すると上回っているものの格差は縮小した。売上額、収益はともに3期連続で悪化した。価格面では、仕入価格・販売価格ともに前期並みに推移した。借入難易度は横ばいで推移したが、借入をした企業はやや減少し、設備投資を実施した企業も3期ぶりに減少した。

サービス業

景況感は、全都と比較すると大きく上回っているものの前期並みで、引き続き厳しい状況が続いている。売上額は大幅に悪化し、収益もやや悪化した。価格面では、材料価格が横ばいに推移したものの、料金価格がやや下降したため収益環境は依然として厳しい。資金繰り・借入難易度は前期並みに推移した。

建設業

景況感は、前期より水面下ながらやや改善した。売上額はやや改善したが、受注残・施工高はともに大きく悪化し、収益は前期並みとなった。材料価格は5期ぶりに上昇し、請負価格は横ばいで推移した。資金繰りは大幅に改善したが、借入難易度は前期並みで、借入をした企業は大幅に減少した。設備投資を実施した企業は3期連続で増加した。